

白鳳丸研究航海報告

東京大学大気海洋研究所

- * 航海番号 KS-18-5 次研究航海
- * 観測海域 (和文) 本州東方海域
(英文) Area East of Japan, Northwestern Pacific
- * 航海期間 平成30年 5月 7日 (月) ~平成30年 5月17日 (木)
- * 出港日時・場所 5月 7日14時横須賀港
- * 入港日時・場所 5月17日 9時石巻港
- * 寄港期間・場所 なし
- * 航海の研究題目 (和文) 黒潮続流域のメソ・サブメソスケール構造とマサバを中心とする魚類群集分布特性
(英文) Meso-submeso-scale structures in the Kuroshio Extension and distribution characteristics of fish species assemblage
- * 主席研究員 (氏名・所属・職名・e-mail アドレス◎は@)
伊藤進一・大気海洋研究所・教授・goito@aori.u-tokyo.ac.jp
- * 研究内容, 主調査者 (e-mail アドレス), 観測項目
1. 黒潮続流域周辺サブメソスケール構造の把握
伊藤進一 (goito@aori.u-tokyo.ac.jp), 自由落下式曳航式 CTD (U-CTD), 船底型 ADCP
 2. 動物プランクトン・魚群群集構造と海洋サブメソスケール構造の関係に関する研究
伊藤進一 (goito@aori.u-tokyo.ac.jp), OceanDNA 採水分析, Auto-Visual Plankton Recorder (Auto-VPR), NORPAC ネット
 3. 栄養塩の鉛直拡散輸送に関する研究
伊藤進一 (goito@aori.u-tokyo.ac.jp), CTD 搭載型栄養塩センサー, 栄養塩採水分析, 溶存酸素採水分析, 塩分採水分析
 4. 海洋サブメソスケール構造に伴う乱流混合分布の把握
安田一郎 (ichiro@aori.u-tokyo.ac.jp), 乱流計 (VMP500), 自由落下式曳航式乱流計 (U-VMP), CTD 搭載型乱流計 (AFP07)

5. 高解像度鉛直流速分布の把握

伊藤幸彦 (itohsach@aori.u-tokyo.ac.jp), 小型 ADCP 付ハイスピードリバーボート (HSRB)

* 乗船研究者氏名・所属・職名

伊藤 進一・東京大学大気海洋研究所・教授
安田 一郎・東京大学大気海洋研究所・教授
伊藤 幸彦・東京大学大気海洋研究所・准教授
松村 義正・東京大学大気海洋研究所・助教
伊地知 稔・東京大学大気海洋研究所・特任研究員
横井 孝暁・東京大学大気海洋研究所・特任研究員
李 根淙・北海道大学・特任研究員
郭 晨穎・東京大学大気海洋研究所・大学院生（博士1年）
石川和雄・東京大学大気海洋研究所・大学院生（博士1年）
平野 雄也・東海大学大学院海洋学研究科・大学院生（博士1年）
榎本 めぐみ・東京大学大気海洋研究所・大学院生（修士2年）
李 沁瑶・東京大学大気海洋研究所・大学院生（修士1年）
翟 燦・東京大学大気海洋研究所・大学院生（修士1年）
木村 詩乃・東京大学大気海洋研究所・大学院生（修士1年）
豊田 進介・マリンワークジャパン・観測技術員

* 航跡・測点図

